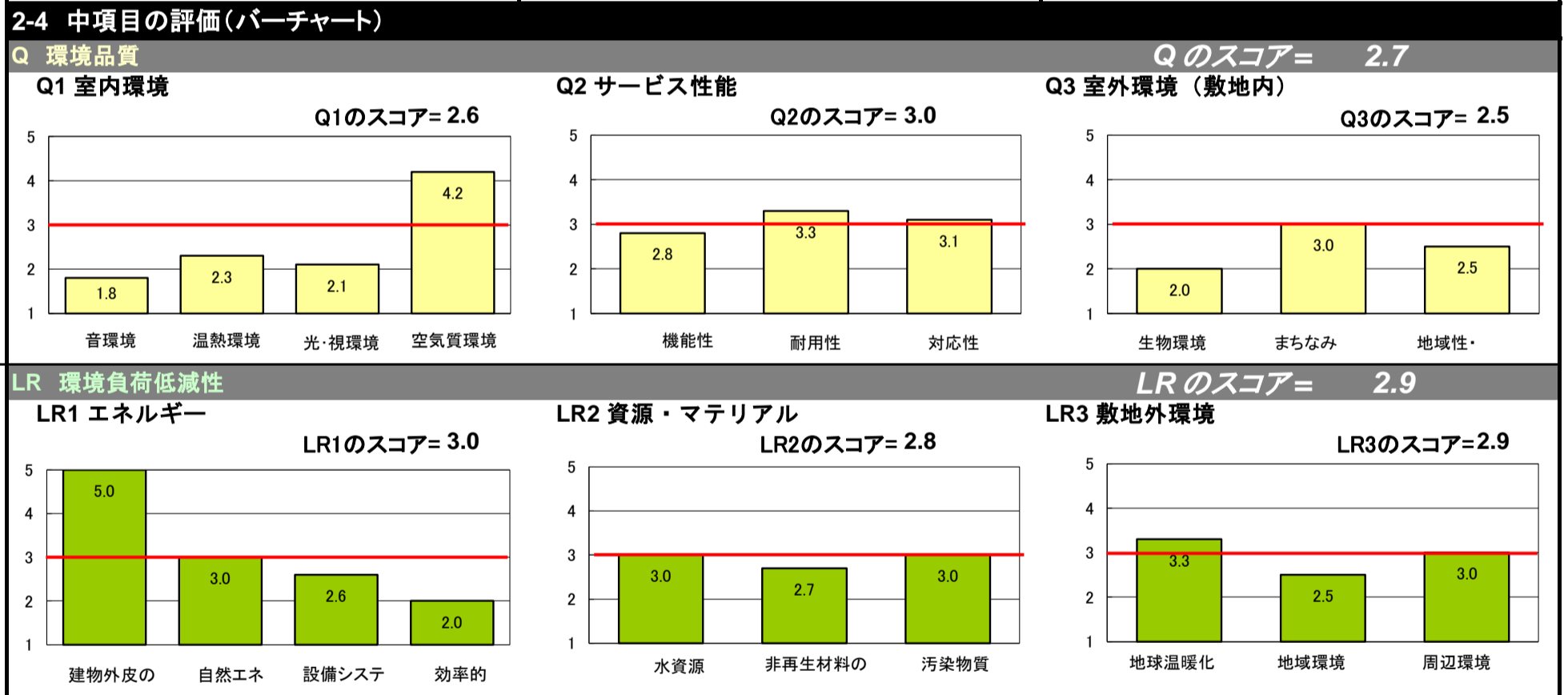
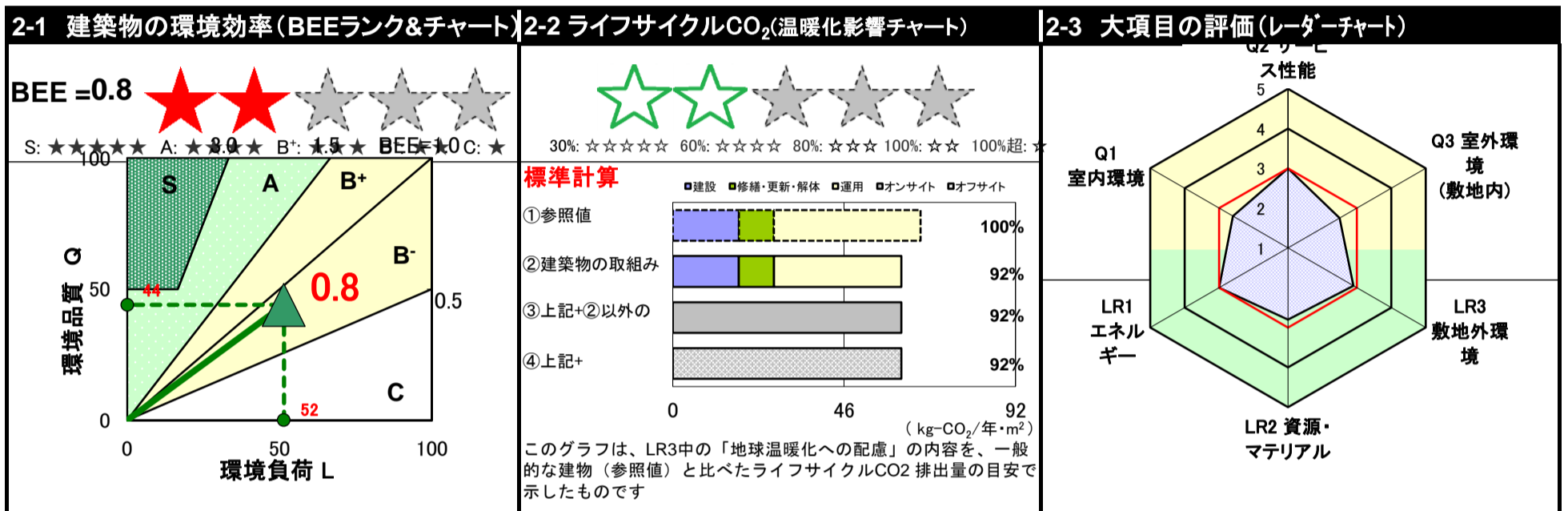
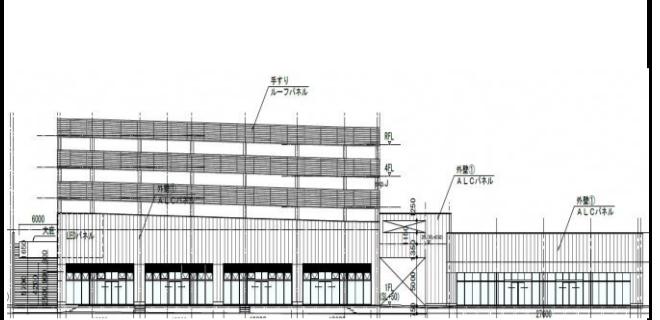


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原複合商業施設 新築工事	階数	地上4F
建設地	神奈川県相模原市中央区小山一丁目728番228外	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	680 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店,集会所,工場,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2020年11月8日
敷地面積	13,821 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社エイチツー・プランニング 一級建築士事務所
建築面積	8,118 m <sup>2</sup>	確認日	2020年11月9日
延床面積	25,497 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社エイチツー・プランニング 一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>・地域にお住まいの方が気軽に立ち寄ることができる「食べる」「遊ぶ」「買う」「運動する」を集約した複合商業施設を目指している。・敷地境界沿いは緑化に努め、周辺からの圧迫感を低減している。・車両の往来が多いことを想定し、車両出入口2箇所、自転車専用出入口1箇所を分散し滞留しにくさに配慮している。</p>		<p><b>その他</b></p> <p>・3面に接道する立地であるが、事務所、戸建住宅が近接するエリアのため、出来るだけ低層の建物構成とし、騒音や光害、臭気対策を心がけている。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>・建築材料に建築基準法の規制対象外となるJIS・JAS規格のF☆☆☆☆を全面的に採用している。</p> <p>・喫煙ブースを4カ所設けることにより喫煙の制御を考慮。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>・外壁材や設備配管に耐用年数の長い材料を採用し、建物の長寿命化に配慮している。</p> <p>・階高にゆとりをもたせ、将来の機器の更新しやすさや、空間のサービス性能の向上を目指す。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>・相模原市の条例に基づき緑化計画を行なっている。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>・LED照明を採用している。</p> <p>・BPI=0.76 BEI=0.87</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>・LGS+GB-Rで部材の再利用がしやすい。</p> <p>・テナントはS Iのため、内装材と設備が錯綜しにくい。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>・警察協議を踏まえて、パチンコ台数、店舗による割出し台数よりも多めの駐車台数を確保している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される